

## 1 策定の目的

- 本市の下水道事業を取り巻く環境は、社会問題化する人口減少により、処理区域内人口においても年々減少するとともに、節水なども重なって使用料収入の減少が予想されます。一方では、老朽化する施設等の改築更新事業に多大な事業費を要することから、財源不足などの諸課題が山積しています。
- 将来にわたって安定的に事業を継続していくために、中・長期的な基本計画である「経営戦略」を策定します。
- 計画期間は、令和4年度から令和13年度までとします。

## 2 下水道事業の現状

- 農業集落排水事業の汚水処理施設の2施設が、今後改築更新を迎える時期にあたり、更新及び今後の維持管理費用を含めたコストを比較した場合、特定環境保全公共下水道事業の汚水処理施設と統廃合を行ったほうが経済的であると判断し、両事業の「一元化」を実施しています（令和2年度に会計統合済）。そのため、農業集落排水処理区域を取り込み、事業計画面積を157haから180.9haへと拡大しています。現在、処理施設の統廃合に向けた管路施設工事を実施しており、事業計画期間は令和8年度までを予定しています。
- 人口減少等に伴う使用料収入の減少により、今後、経営状況は厳しくなる見込みです。

## 3 将来の事業環境

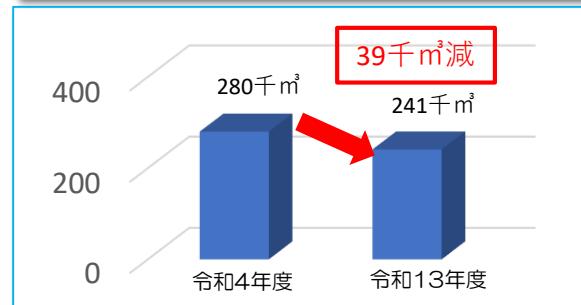
### （1）処理区域内人口の予測

- 処理区域内人口は、国立社会保障・人口問題研究所が公表した人口推計を基礎として予測しています。
- 処理区域内人口は、令和4年度3,101人の見込みですが、13年度には2,728人に減少する見込みです。



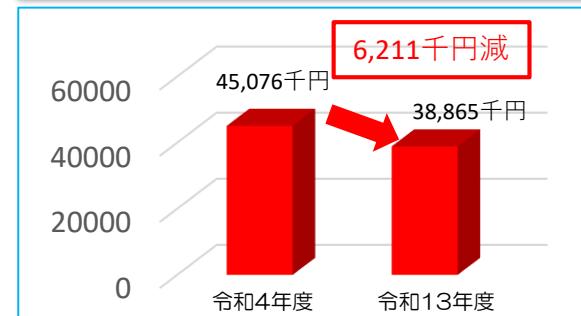
### （2）処理水量（有収水量）の予測

- 人口減少に伴い、処理水量も減少する見込みです。
- 処理水量は、令和4年度は280千 $m^3$ の見込みですが、13年度には241千 $m^3$ に減少する見込みです。



### （3）使用料収入の予測

- 下水道使用料収入は、現行の料金体系を維持した場合、令和4年度は45,076千円の見込みですが、13年度には38,865千円に減少する見込みです。



## （4）下水道施設の計画期間中の投資額の見通し（計画期間中の総額）

- ①旧農業集落排水処理区域からの接続管工事 3億8千万円
- ②終末処理場・ポンプ場の更新等工事 1億1,600万円
- ③管路施設工事等（単独分） 4,000万円
- 合計 5億3,600万円

## 4 経営の基本方針

- （1）公共用水域の水質保全  
健康で快適な生活環境の整備により公共用水域の水質保全に努めます。
- （2）旧農業集落排水処理区域からの接続管工事及び水洗化の普及促進
  - ①農業集落排水処理施設と特定環境保全公共下水道処理施設の統廃合を令和8年度に予定してします。
  - ②ストックマネジメント計画に基づき、老朽化など施設の整備、更新を計画的に実施します。
  - ③経費削減や水洗化率の向上による収入の確保はもとより、収支ギャップを解消するための使用料改定も視野に入れた運営をいたします。

## 5 投資・財政計画

- （1）投資について  
全体計画及び事業計画に基づき整備に努めます。日南市の財政状況及び下水道事業の経営状況を勘案し、状況によっては整備計画の再検討を行い財政負担の軽減を行います。
- （2）財政について  
水洗化率の向上による使用料収入やこれまでと同じ水準で一般会計繰入金を見込んでいますが、今後の人口動向の推移等を考慮した場合、安定経営のために計画期間中に約32%の使用料改定を見込んで収支計画を策定しています。

## 6 効率化・健全経営化の取組

- （1）組織、人材、定員、給与等  
市の行政改革大綱に基づき、適正な定員管理に努めます。
- （2）資金管理・調達に関する事項  
建設費における基本的に財源は、国庫補助金等を最大限活用するとともに、公営企業債の借入れを行います。その際は、利率の低い政府系資金を基本としつつ、銀行等引き受けにより資金を調達します。

## 7 経営戦略の事後検証など

- 常に経営状況の改善が図られるよう、毎年の決算状況を見ながら、概ね3～5年で投資・財政計画を検証します。